

令和3年度 ネイティブ講師による英語指導 報告書

学校法人つくし野学園 聖母幼稚園

【ネイティブ講師と楽しみながら英語に親しむ】

➤ ねらい

ネイティブ講師との交流を通して、楽しみながら英語に親しみ興味を持つ。

➤ 英語指導概要

分かり易く丁寧なレッスン	導入は明るい挨拶とオーバーリアクションで子どもたちの興味を引き付ける 始めはゆっくり一人ひとりに話しかけ、繰り返すことで理解を高める
子どものペース興味にあった内容	音楽に合わせて体を動かしながら英語を発音する ぬいぐるみとの英会話を通して安心して関わる 自分・家族・友達と日常の身近な言葉から触れる
楽しめる雰囲気	フラットな教室で自由に動ける環境 ゲーム感覚での英会話 たのしい音楽に合わせて英語の歌を歌い、ジェスチャーを楽しむ
講師の雰囲気・指導力	ネイティブ講師の独特な発音 表情豊かで、小道具を使った飽きない指導方法

時間	対象学年	場所	取り組み内容
10:30~11:00	年少(3歳)児	ほし組教室	正課「英語指導」 年間24回以上の指導 ネイティブ講師によるオールイングリッシュの時間を年齢別に開催
11:00~11:30	年中(4歳)児	つき組教室	
11:30~12:00	年長(5歳)児	そら組教室	

➤ 取り組みと成果

- ① 講師と信頼感を持てるよう、英語の名札をつくり、個人的なコミュニケーションが取れるようにする。

来園した先生に名前と呼ばれ挨拶することで、講師との距離がぐっと縮まり、自然な話につながる機会が多くある。また、英語のスペルに自分の名前から触れることで、スペルに興味を持ち、保育の中で名札を見ながら形を真似て自分の名前を書く姿が見られた。

- ② ネイティブ講師に違和感がある子どもは、英語指導を参観することから始め、徐々に参加できる体制をつくる。

初対面で慣れない子どもがいたため、離れた場所から雰囲気は伝わるよう配慮しながら、本人の意思を尊重し見守ることで、廊下から教室の壁際での参加、そして、無理なくお友達といっしょに参加できるようになる。

- ③ ネイティブな英語に耳慣れし自然にコミュニケーションできるために、教師も一緒に参加する。

教師が傍にいて子どもたちと同じ体験をする事で、安心して参加できるようになる。教師も講師のリアクションに大きな声で応答することで、英語指導が回を重ねるごとに盛り上がりを感じ、子どもたちの自然な笑顔が増え、心から楽しんでいる様子が見え始める。

- ④ 保護者にネイティブ講師による英語指導参観日を設けた。

英語指導の様子を参観することで、子どもたちの様子や取り組みを実際に視ていただき、英語指導に関するアンケートを実施した。また、保護者にネイティブ講師による英語指導について感じたことを「お母様の声」としてホームページに掲載した。

➤ 評価アンケート結果

評価項目	評価	意見
レッスンは分かり易く丁寧な指導でしたか	A	・幼児期からネイティブ講師ならではの英語に親しむ経験ができることはとてもありがたく貴重な時間なので続けていただきたい。
レッスンは子どものペースに合わせ、興味にあった内容で進められていましたか	B	・時間日数を増やしていただきたい。 ・とても明るい雰囲気で楽しんでいる姿がとても良かった。
レッスンの雰囲気はどうでしたか	A	・家庭でも講師の発音を真似て練習をする姿が見られた。
講師の雰囲気、指導力はどうか	B	・子どもにとって外国語に触れる機会はとても良いことだと思う。 ・ネイティブ講師に教えていただけることで、日頃からグローバルな感覚をもてることはとても良い。
幼稚園で英語指導があることについてどう考えますか	A	・普段ネイティブな英語に触れる機会が少ないのでとてもありがたい。ただ、オールイングリッシュなので、子どもが理解し内容についていけないか心配でした。
ネイティブ講師に変更してよかったですか	A	・マスクで口元が見えないことが残念でした。

➤ まとめ

正課英語指導をネイティブ講師によるオールイングリッシュに変更できたことで、これまで以上に講師との関わりを喜び、英語指導の日を楽しみにして登園するようになった。子どもたちの様々な不安はすぐに解決し、ネイティブな英語を聴き会話を楽しむだけでなく、ネイティブ講師の容姿やジェスチャーなどに興味関心を持ち、それぞれが醸し出す違いに触れられたことは、とても有意義な体験となり子どもたちの将来にとっても貴重な経験となった。これからグローバル社会に関わる多くの子どもたちにとって大切なことと考えられる。